

令和元年度微生物検査コントロールサーベイ I : 結果報告

実施結果

参加施設 : 44 施設

回答施設 : 44 施設

* 各施設で使用しているグラム染色液

B&M 法	61.4 % (27 / 44)
フェイバー法	31.8 % (14 / 44)
その他	4.5 % (2 / 44)
記載なし	2.3 % (1 / 44)

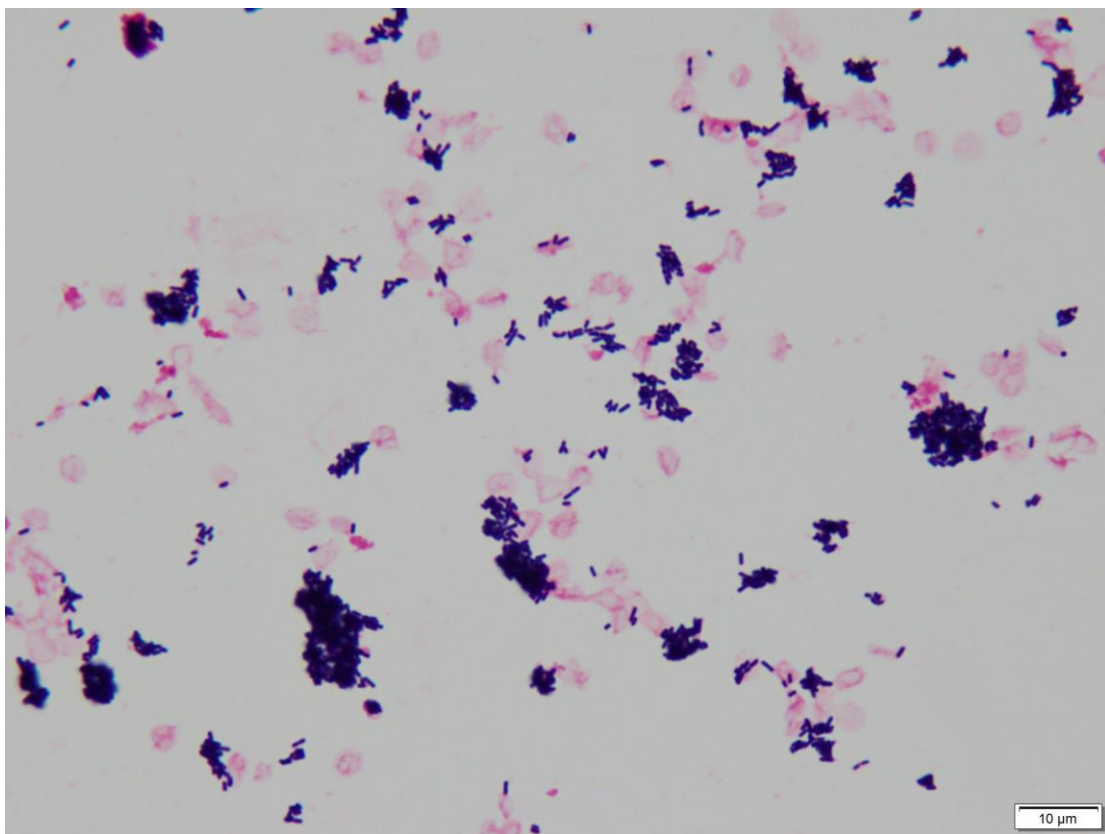
結 果

☆標本A : 血液由来 (*Listeria monocytogenes*)

27 歳の女性。乳製品を喫食後、発熱があり、血液培養を施行した。翌日、好気および嫌気ボトルが陽性となった。標本 A は血液培養陽性時の標本である。本菌はヒツジ血液寒天培地で弱いβ溶血性を示し、カタラーゼ試験陽性、CAMP テスト陽性、20~28℃で活発な運動性を示した。

推定される菌を選んでください。

- | | | |
|---|---------------------------------|--------------------|
| ○ | <i>Listeria monocytogenes</i> | 95.5 % (42 / 44) |
| × | <i>Streptococcus agalactiae</i> | 4.5 % (2 / 44) |

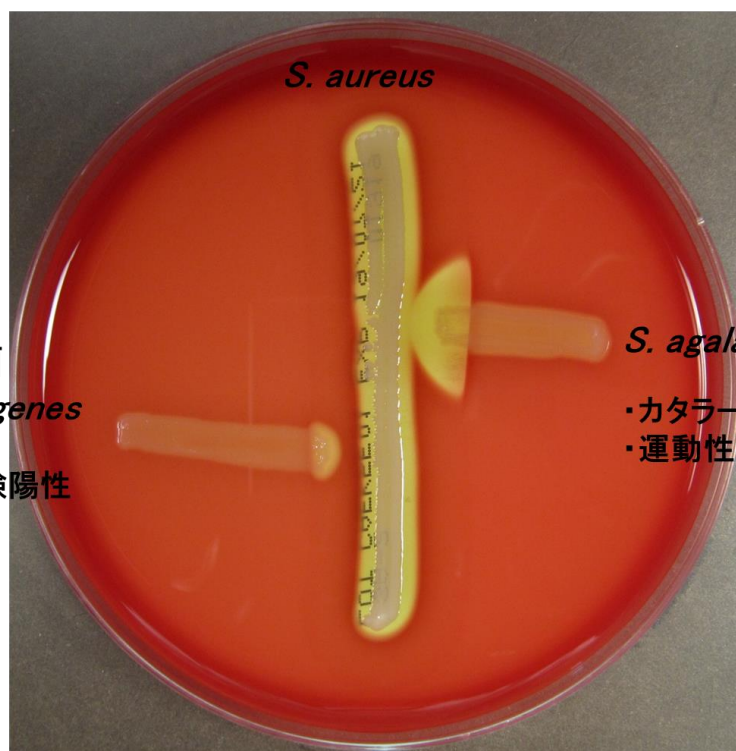


CAMP試験

標本Aの細菌

L. monocytogenes

- ・カタラーゼ試験陽性
- ・運動性陽性



S. agalactiae

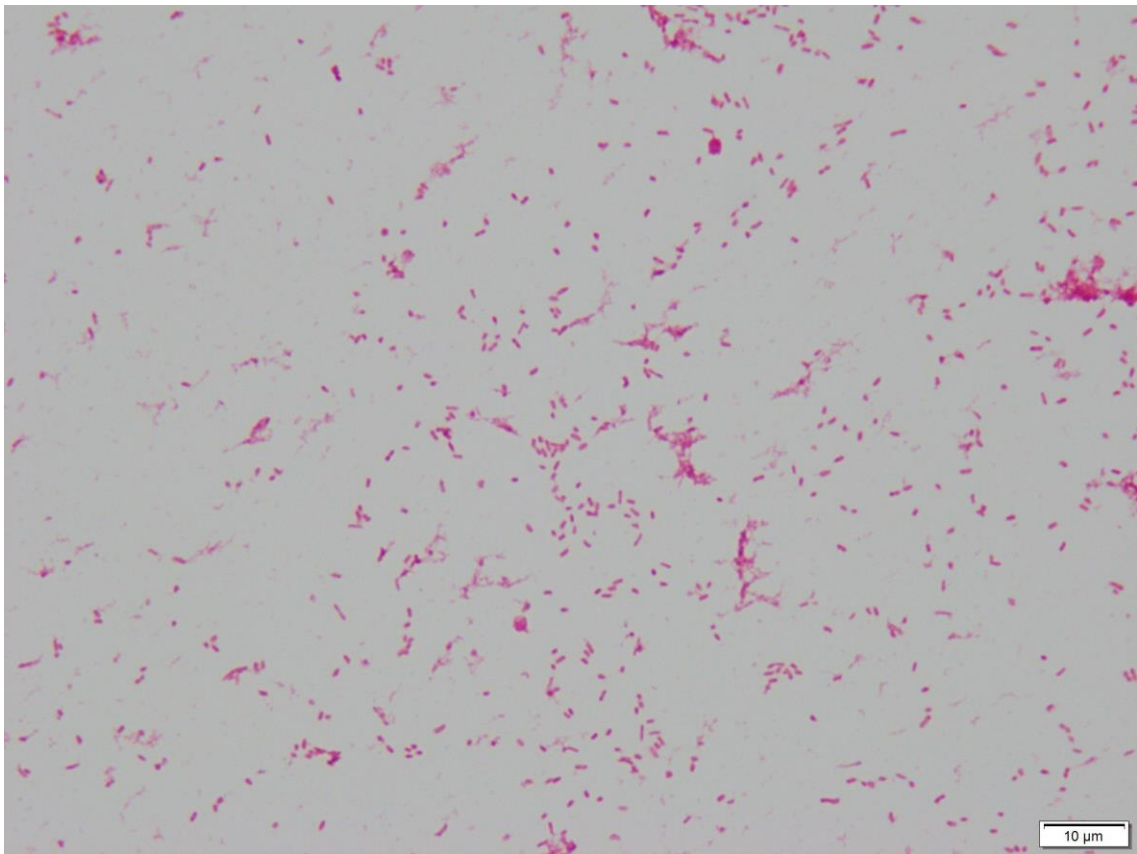
- ・カタラーゼ試験陰性
- ・運動性陰性

☆標本B：喀痰由来（*Streptococcus pneumoniae*）

70歳の男性。腹膜炎の患者。発熱があり、血液培養を施行した。培養2日後、嫌気ボトルのみ陽性となった。標本Bは血液培養陽性時の標本である。本菌はBBE寒天培地、バクテロイデス寒天培地に発育を認めたが、変法FM寒天培地には発育しなかった。カタラーゼ試験陽性、エスクリン加水分解試験陽性、インドールテストは陰性であった。

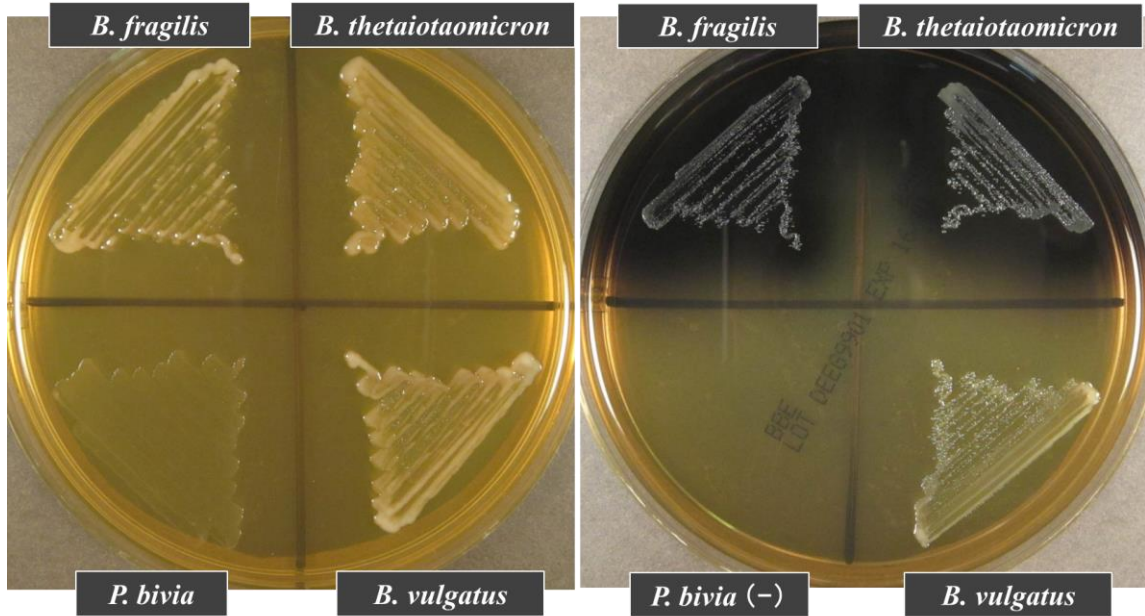
推定される菌を選んでください。

Bacteroides fragilis group 100 % (44 / 44)



バクテロイデス寒天培地

BBE寒天培地



Bacteroides fragilis

Bacteroides thetaiotaomicron

